



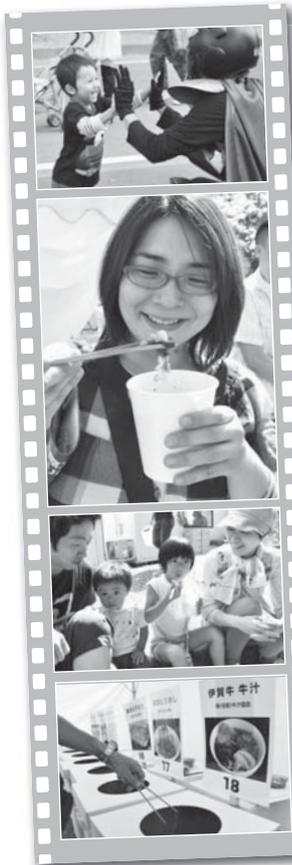
ご当地グルメで まち自慢

中日本・東海B-1グランプリ in 豊川

「中日本・東海B-1グランプリ in 豊川」が9月24日・25日に開催され、21万8,000人が来場。三重、愛知、岐阜、静岡、長野の各県から出展した22団体が、B級ご当地グルメや、日ごろのまちおこしを披露しました。



「伊賀牛集団 部位3」も
名張をモー烈アピール!



隠(名張)牛汁協会 4位入賞

投票対象となった18団体は、来場者が各団体の投票箱に入れる箸の重さを競い、「隠(名張)牛汁協会」が見事4位入賞。「名張牛汁」は、酸味のあるト

マトを加え、夏向けのすっきりとした味に。会場で購入した竹内明美さん(豊川市)は「牛肉の甘みとあっさりだし汁の相性は抜群。とってもおいしかった」と大満足。味へのこだわりはもちろん、持ちやすいカップ容器を採用したり、牛汁の具となる焼おにぎりをバーナーであぶって注目を集めたりしました。





12月から上下水道の窓口業務を民間事業者へ委託します

市では12月1日から、水道メーターの検針や料金の通知などの業務のほか、上下水道の使用開始申込などの受付窓口業務を民間事業者(第一環境株式会社中部支店/愛知県春日井市)に委託し、「**名張市上下水道部お客様センター**」として業務を実施します。これにより、業務の効率化とサービスの向上に努めていきます。

なお、業務場所(下比奈知2820番地 富貴ヶ丘浄水場内)や営業時間(平日午前8時30分~午後5時15分)、電話番号(63-4111)、上下水道料金などの変更はありません。また、市と委託先が個人情報の取扱の重要性を十分認識し、保護対策に万全を期します。

■ 主な委託業務内容

- ① 上下水道部来訪者に対する窓口業務
- ② 上下水道の使用開始や使用中止などの受付業務
- ③ 水道料金、下水道使用料、農業集落排水処理施設使用料、百々生活排水処理施設使用料などの請求・収納業務
- ④ 水道メーターの検針業務
- ⑤ 水道の使用開始・中止に伴う現地での開閉栓業務
- ⑥ 未納水道料金などの督促関連業務
- ⑦ 公設水道メーター取替業務 など

■ 従業員は身分証明書を携帯しています



身分証明書イメージ

上下水道部お客様センター従業員は、市が交付する身分証明書を携帯しています。不審に思われた場合は身分証明書の提示を求め、上下水道部お客様センターへお問い合わせください。

☎ 上下水道部営業室 ☎ 63-4111



国津の杜の行事

☎はぐくみ工房あららぎ ☎62-6920

コーンスターチ粘土教室

色粘土シリーズⅡ 自己流にアレンジした飾り

日時 11月22日(火) 午前9時30分~正午

参加費 1,200円(材料費含む)

定員 10人 講師 武田 裕子さん

陶芸教室

伊賀土で土物の「抹茶チャワン」づくり

日時 11月24日(木) 午前9時30分~正午

参加費 3,000円 定員 10人

講師 角谷 英明さん



☆☆☆☆☆
申込 11月14日(日)から18日(木)までに電話で問い合わせ先へ ※先着順。参加者が少ない場合は中止



interview

各地を盛り上げご当地グルメ

B-1グランプリ初出展でしたが、名張の元気が伝わった!



隠(名張)牛汁協会 会長 奥田 哲也さん

「隠(名張)牛汁協会」が「B-1グランプリ」への初出展を果たし、4位という好成績。牛汁が多くの人に受け入れてもらえるという手ごたえがありました。また、名張が誇るローカルヒーローの「部位3」も大人気でしたし、名張の元気が発信できたと思います。

今後は、もっといろいろな団体とつながりながら、牛汁だけでなく、赤目四十八滝やぶどうなどの観光資源を全国に発信していきたいですね。

四日市には魅力が満載! 公害のイメージを払拭したい

四日市とんてき協会 代表理事 小林 慶太郎さん

四日市といえば、公害やぜんそくを思い浮かべる人が多いのですが、そのイメージを変えていこうというのが活動の原点。いまや「四日市とんてき」は全国に広まりつつあります。今回は、プロの料理人も初参加。万古焼など市内の各種団体と連携して四日市の魅力をアピールしています。

B-1グランプリへは、県内では私たちが最初に出展したのですが、亀山、津、そして名張と仲間が増えてきています。今後も刺激し合いながら、切磋琢磨していきたいですね。



全国的に注目される「富士宮やきそば」は私たちの誇り!



富士宮やきそば学会「ヤキソバニール」の皆さん

富士宮やきそば学会の「ヤキソバニール」としてデビューしました。けっこう楽しんで活動していますよ。

富士宮やきそばが全国的に有名になって、いまでも地元の盛り上がりはおさまりません。メディアの取材も多く、いろんな有名人も富士宮にやってきます。

全国の皆さんに富士宮を知ってもらい、やきそばを食べてもらえるのは、とってもうれしいですね。地元、富士宮が大好きですし、誇りをもっています。

各務原キムチで、まちをホットに! 鍋奉行として日々奮闘中

キムチ日本一の都市研究会 会長 井上 克彦さん

各務原市は、韓国春川市と姉妹都市提携を結んでいます。これがきっかけで、「キムチによるまちおこし」がスタート。各務原市特産のにんじんと、春川市特産の松の実が「各務原キムチ」の味の決め手です。市内では、60以上の店舗で各務原キムチや、キムチ料理が販売され、市民の間でもキムチは欠かせないものとなっています。

おかげで、まち全体がホットに盛り上がり、わたしも、各務原キムチ鍋の鍋奉行として日々元気に頑張っています。



B-1グランプリを開催地のみんで盛り上げました



B-1グランプリin豊川 運営サポーター 小林 琢生さん

豊川市で「B-1グランプリ」が開かれることになり、1,200人もの市民がボランティアとして参加。まち全体で大会を盛り上げました。

大会には豊川市の人口を上回る21万人以上が訪れ、豊川を多くの人に知ってもらえましたし、まちにも活気があふれています。これからも、私たちの「豊川いなり」を通じて、豊川市をもっと元気にしていきたいですね。